



『QCサークル』誌 2025年12月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

p.2～

トヨタ自動車北海道㈱ 代表取締役 取締役社長 高橋 慎弥 さん

そうした経験を踏まえたうえで、私の QC サークル活動に対する考え方としては、やはり人財育成における重要なスキーム（仕組み、枠組み）の 1 つであるにとらえています。トヨタでは「ものづくりは人づくり」とよく表現しますが、その人づくりを進めるためのよい手法であるということです。また人財育成面だけでなく、1 つのテーマについてチームのメンバー間で議論しコミュニケーションをはかりながら、最終的には職場力、現場力の向上につなげていくという活動でもあるので、とても有意義なものと考えています。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.5～

横浜市立総合医療センター

横須賀市の中核病院である横浜市立総合医療センターは、2025年3月1日に、2002年開院の横須賀市うわまち病院を移転・新築して誕生しました。前身のうわまち病院では2004年から QC サークル活動を導入、横浜市立総合医療センターとして移転・新設後も休止することなく活動を続け、20年以上の歴史を積み重ねています。活動や推進の進め方には以前から定評があり、業務として位置づけて進めています。長く活躍する推進のキーマンに組織としての仕組みや仕掛け、そして全国大会への出場も何度も果たしている部署の QC サークルリーダーに活動の進め方についてお話をうかがいました。

★特集：こんな発表会 やっています

p.9～（管理者／事務局、運営／推進）

「QC サークル発表会」は発表側としては活動をまとめて発表し認められることで達成感を得る、また発表を聴く側としてはほかのサークルのよい点を吸収し、悩みや解決のヒントを得られます。発表側と聞く側の双方にとって「学びの場」として大切なのです。一方、コロナ禍を経験し web 発表やオンデマンド、アーカイブなどが活用され便利になった反面、発表会としての意味合いが変わり、「発表ありきの活動で内容が形骸化している」、「質疑応答など会場での一体感がない」、「活動導入後間もない組織からは発表への敷居が高い」という懸念があります。本特集では、発表会の工夫やその成果について支部・地区や企業での事例を紹介し、活動の輪を広げたい読者の参考にしていただきたいと思います。

★推進者のページ：こんな推進者になりたい ～役割とその責任を理解し実践する～

p.23～（管理者／事務局、運営／推進）

第12回 困ったサークルの対処法を教えてください

QC サークル運営がうまくいかなかったり、メンバー間で意識の統一がはかれなかったりすると QC サークルは停滞し、メンバーは負担ばかりを感じてしまいます。今月は、QC サークル活動がうまく機能しない「困ったサークル」が生まれる要因に着目してみました。そこに管理者がどう対処し、指導・支援していくかを見ていきます。

2025年推進者のページのまとめとして、連載各回の整理を行い、改めて推進者の皆さんが本ページを振り返り、役立てられるよう期待しています。

★サークル Q&A ただいま出勤 QC サークル 119 番～あなたの困りごとに寄り添います～

p.32～

カルテ 197

今月号では、QC サークル活動で新たなテーマに取り組むにあたり、どこから取り組めばよいかという着眼点を考えていきます。時間の使い方でムダ・ムラ・ムリをなくす工夫をし、職場の改善を考えていってください。上司や同僚と相談して、自部門の方向性ともすり合わせしながら、活動を進める参考にしていただきたいと思います。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例 3 件を紹介します。

体験事例：p.34～

1.（サークル、製造、改善）

日野自動車㈱ 「センターサークル」

「ホイールボルト組立における位置出し・圧入作業工程の低減 ～発想の転換による 2 人作業廃止への挑戦～」

2.（サークル、製造、改善）

㈱デンソー 大安製作所 「ワールドサークル」

「樹脂付着不良低減活動 「お客様目線の QC サークル活動」」

3.（サークル、製造、改善）

日産自動車㈱ いわき工場 「V-Power サークル」

「シリンダーブロック加工ライン ナットランナー（N/R）締付け以上撲滅」

★運営のページ QC サークル活動運営の基本を学ぶ ー運営の工夫で楽しく活動してみませんかー

P.48～（サークル、運営／推進）

第 12 回 サークル／チームの弱み・強みを把握する工夫

本ページは、『QC サークル活動運営の基本』（QC サークル本部編）に書かれているような基本的な事項の一つひとつ取り上げて解説します。活動を始めたばかりのサークル、活動経験はあるものの疑問や不安を感じているサークルなどに、運営について体系的に学んでもらうことがねらいです。今月は、自主的な QC サークル活動を継続するために大切な自己評価について見ていきます。なぜ大切なのか、そして自己評価の方法や工夫を紹介していますので、読者の皆さんも参考にして、サークル活動を運営していただければと思います。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.50～

東京都立多摩総合医療センター 放射線科 「経営に貢献し隊サークル」

サークルに改善の背景や内容を、推進者にはサークルの育成方法について紹介いただくページです。今月は、勤務シフトや業務フローを工夫し、限られたリソースで検査者枠の拡大と品質向上を達成した取組を紹介しています。関係部門にていねいに働きかけ理解を得て、他部門と連携した QC サークル活動を行っています。他業種にも参考となる取組みです。

★QC検定道場

P.52～（サークル、一般者(標準)）

第 12 回 散布図と相関関係、新 QC 七つ道具

今月号は、2018 年 9 月に実施された第 26 回と 2024 年 9 月に実施された第 38 回品質管理検定（QC 検定）の 3 級問題を取り上げ、解説しています。散布図の特徴と相関係数の算出方法ならびに新 QC 七つ道具の特徴と使い方を学んでいきましょう。

★連載講座：「QC 的ものの見方・考え方」の基礎に学ぶ

p.56～（サークル、一般者(標準)）

第 6 回 「組織運営に関する考え方」について

この連載では、7 月号から 12 月号まで 6 回にわたり、「QC 的ものの見方・考え方」という QC の基礎的内容について、読者のみなさんとともに勉強してきました。

最終回となる今月号では、「リーダーシップ」、「全員参加」、「人間性尊重」「教育・訓練の重視」という組織運営に関する考え方について、身近な事例を挙げながら解説しています。この連載講座の終了に当たって、改めて各回で取り上げた内容を統括して紹介していますので、ぜひもう一度振り返り、今後も業務に役立ててください。

☆『QC サークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品の PR の場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QC サークル』誌編集

TEL：03-5378-9817 E-mail：

